



令和7年度SIP「豊かな食」研究成果活用ピッチイベント

内閣府の戦略的イノベーション創出プログラム（SIP）で研究開発された「豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築」に対し、「知」の集積と活用 の場 産学官連携協議会と共催で、各研究成果の連携希望先とのマッチングイベントを開催します。今回は、動物性タンパク質(水産物)の次世代養殖システム構築の課題を対象とし、近年の食をめぐる課題に対応し、国民に豊かな食が持続的に提供されるフードチェーンの構築を目指します。下記の連携希望先の事業者様はぜひご参加ください。

【イベント概要】

日程：2025年10月9日（木）13:00～16:00

形式：ハイブリット

現地会場：ビジョンセンター グランデ東京浜松 7階 [\(アクセス\)](#)（会場住所：東京都港区芝大門1-13-9）

※ネットワーキングもありますので、現地参加を推奨します。オンラインリンクは後日お送りします。

費用：無料

参加申込：<https://forms.office.com/r/MJEKB8LuJY> 締め切り 10/8（水）17時

【スケジュール】

13:00～13:15 開会挨拶

13:15～13:30 **課題C「動物性タンパク質(水産物)の次世代養殖システム構築」の全体説明**

／ 水産研究・教育機構 水産技術研究所 水産工学部 副部長 齊藤 肇

13:30～14:00 **生産性向上のためのリアルタイム飼育管理システムの開発**

／ 水産研究・教育機構 水産技術研究所 水産工学部 主幹研究員 今泉 智人

14:00～14:30 **養殖拡大のための大規模養殖技術の高度化**

／ 日鉄エンジニアリング株式会社 ソリューション共創センター

養殖システムビジネス部 企画営業室 室長 米林 龍太郎

14:30～15:00 **魚粉依存を軽減する魚類養殖支援技術の開発**

／ 水産研究・教育機構 水産技術研究所 育種部 グループ長 菅谷 琢磨

水産研究・教育機構 水産技術研究所 水産物応用開発部 主任研究員 安藤 忠

15:00～16:00 ネットワーキング

【各課題概要】

▶ 課題「動物性タンパク質（水産物）の次世代養殖システム構築」

生産性が高く競争力のある養殖業を実現するため、ICT・AIを活用して海面養殖生簀の日常的な給餌・健康監視を無人・無船舶で行える以下の養殖システムを開発します。

①海面養殖生簀の日常的な給餌・健康監視を無人・無船舶で行える養殖システム。

②個々の養殖場の親魚数や育成年数等の制約条件を踏まえた育種過程を予測できる育種シミュレータと、親魚の適切な選抜を支援するゲノミックセレクションプログラムを搭載した育種改良プラットフォーム。

①②を組み合わせ、従来の大型生簀養殖に比べて20%のコスト削減を実現します。

また、環境にやさしく低コストな昆虫（ミズアブ）養殖により、ブリ養殖に必要な魚粉の2割代替を目指しています。

<連携希望業者の特徴>

- ・ 養殖業者。漁協。自治体水産部門。
- ・ ミズアブ生産企業。水産飼料メーカー。養殖業者 等

【問い合わせ】「知」の集積と活用 の場 産学官連携協議会事務局 Email: fkii@maff.go.jp